

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪府立能勢高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒563-0122
大阪府豊能郡能勢町上田尻580
Website : http://www.osaka-c.ed.jp/nose
児童生徒数：男子 97名 女子 72名 合計 169名
児童・生徒の年齢 16歳～18歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（持続発展教育、グリーンツーリズム）

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（文化祭、マレーシア修学旅行、オーストラリア国際交流研修）

I. 1年次生「産業社会と人間」2, 3年次生「総合的な学習の時間」

・環境学習、国際理解学習、人権学習、福祉学習、グリーンツーリズム学習、地域学習

①外部講師による講演とワークショップ

②本校留学生、元本校留学生（在日大学生）による異文化理解講座

講師（協力団体）：大学教員、国際交流協会職員、市民ボランティア、地域諸施設職員、JICA、海外研修生、NGOなど。

II. 校外学習

2年次でJICA 関西訪問：元協力隊員講演、JICA 活動理解、異文化理解

III. マレーシア修学旅行、オーストラリア国際交流研修

- ・マレーシア修学旅行の準備として、交流高校（毎年同じ学校）生徒、教員とのメールのやり取り（情報交換、異文化理解）
- ・オーストラリア国際交流研修（任意参加）の相手校生徒とのメールのやり取り、研修後の相互訪問。本校訪問時には、授業で活用。

IV. 文化祭でのチャリティー活動・・・NGO 2団体とタイアップ

「モンゴルジェンダーセンター 支援」

「東日本大震災・フィリピンマングローブ林植林 支援」

V. 留学生の受け入れ

長期留学生1名を受け入れ、本校生徒同様の学校生活。

町民ボランティア複数による日本語指導。町民によるホームステイの受け入れ。

町内小中学校での国際交流授業に派遣。地域での交流活動に参加。

学校だけでなく、地域の国際交流に貢献。

VI. 外部での生徒によるプレゼンテーション

本校のESD、ユネスコスクール教育活動について、学校外の各発表大会において、プレゼンテーションを行い、関係者に広報活動を行った。また、地域住民に、学習内容を伝達した。

VII. 平成24年度 文部科学省ユネスコパートナーシップ事業

「高校生国際フォーラム準備セミナー、2012」
2012年6月～2013年1月（全6回）
第6回は、「日韓中高校生フォーラム」として開催
生徒の参加。

VIII. ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）主催
「ESD・RICEプロジェクト」

「持続可能な生産と消費」をテーマに、大阪ユネスコスクールネットワークと
して「基幹3校」と「構成8校」がそれぞれに調査研究。
農場を持つ本校は、「基幹3校」の1校として調査研究を進める。

IX 「東日本大震災被災地への応援うちわ作成・贈呈」

X. 「観光甲子園」全国大会出場。

グリーンツーリズムの実践として、生徒プロジェクトチームが、地域興しプラン
提出。

予選通過により本選全国大会出場。

観光プランを通して地元地域伝統、文化を発信。

地域コミュニティーと協力し町おこしに貢献。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
 その他（能勢高校ニュースレター・・・月刊で能勢地域全教育機関に配付）